

令和6年度

すくわくプログラム活動報告書

(実施対象：1歳児クラス)

モニカ三軒茶屋園

Monica

テーマ

光と影

設定理由

屋内外で影に気づき目で追ったり、触れる姿があり、ライトテーブルに色水や寒天を乗せて、光の通る様子を声を出しながら楽しんでおり、影が大きくなったり、小さくなったりする動きに興味を示しているため。

対象クラス

1歳児クラス・7名

活動の狙い

光と影が作り出す模様など
幻想的な雰囲気を楽しむ

キーワード

「この黒いものは何だろう？」

活動期間

令和6年12月～令和7年2月

活動回数

計3回

活動①

手や道具を使って いろいろな影を作ってみる

実施日

令和6年12月27日

問い

「この動くものは何だろう？」

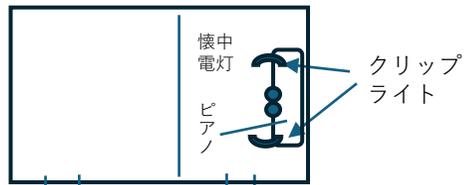
準備物

目隠し用布（9枚）
白い大布（1枚） | 懐中電灯（2個）
クリップライト（2個）

環境構成

サンルームを使用：目隠し用の布で部屋を暗くする※暗闇を怖がる子どももいるので暗くなり過ぎないようにする。反対側にもまわれるようにサンルームの真ん中あたりに布を設置する。1グループ2～3人、保育者2人

窓を黒い布で目隠しする



光と影に出会う

R6.12.27 大島



「あ！いた！」

光に背を向けると、白い布に映る
“もう一人の自分”と出会いました。

反対側はどうなっているんだろう。
光の当たらない方に回ってみます。

「うわあ！おっきい！」
「かげ？」
「ごりらみたい！」



そしてまた光の当たる方へ行き、

大きな影の真似をして、
両手や体をゆらゆら。

「うほうほ！」 「動いてるよ！」

大きくなったり小さくなったり。
自分が動くにつれてくる。

不思議な影と心を通わせ、
じっくりと遊ぶ姿がみられました。



活動②

光源からの距離を変える

実施日

令和7年2月14日

問い

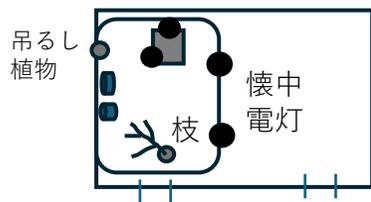
「光を当てたらどうなるだろう」

準備物

目隠し用布（9枚） | 白い大布（1枚）
懐中電灯（2個） | クリップライト（2個）
テーブル（1台） | さらし | 枝 | 花瓶
廃材（テープの芯・緩衝材・ラップの芯など）
小懐中電灯（4個）

環境構成

サンルームを使用：目隠し用の布で部屋を暗くする※暗闇を怖がる子どももいるので暗くなり過ぎないようにする。
1グループ2～3人。保育者2名。自由に光や素材を動かして動きを楽しむようにする



● クリップライト

R7.2.14
渡辺

光をあてたら…



ライトを持ち影の探検へ
出かけました

素材に触れてみる
影に触れてみる
様々な角度から光を当ててみる

「大きくなった」
「小さくなった」
「無くなった！」

光が動くとも影も動く
そして、消えた



光が作る影の世界に魅了される
こどもたち
思いおもいに探求し、光と影の
関係性を感じています

活動③

光と影の世界に入って遊ぶ

実施日

令和7年2月28日

問い

「影はどうなるかな？」

準備物

目隠し用布（9枚） | 観葉植物
枝 | 葉 | プロジェクター（1台）

環境構成

サンルームを使用：目隠し用の布で部屋を暗くする※暗闇を怖がる子どももいるので暗くなり過ぎないようにする
ぶつからないよう気をつけながら3人ずつ行う。
プロジェクターで映像を流して世界に入って楽しむ

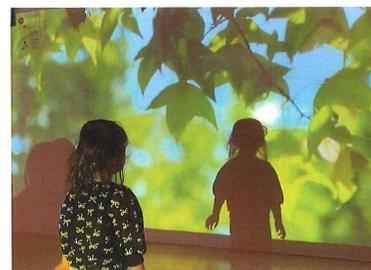
吊るし
植物

ピアノの上に
プロジェク
ター



光と影の世界へ

R7.2.28 大島



プロジェクターで映像を投影した
不思議な光の世界。

「うわあ〜！」

近づいてみると、
大きな影も映りました。

「あ...」「いたねえ」

ゆっくりと左右に行ったり来たり。

すると、光の中の自分の影も
行ったり来たり。

確かめるように
見つめる姿もありました。



動物が走ると子どもたちも走る。

そしてまた、
自分の影もお友だちの影も走る。

不思議できれいな光と影の世界に
没入していた子どもたちでした。

使用物

クリップライト | ライトテーブル | 網目状のもの（緩衝材や排水溝ネットやザル）
目隠し用布 | 卵パックなどの廃材 | ラミネートフィルム | プロジェクター | 小さな懐中電灯
目隠し用黒い布 | 白い布 | さらし

テーマ：光と影

全体の振り返り

子どもたちは言葉にならずとも「なんだろう？」と手を伸ばしたり、驚いたり、発見したことを知っている言葉で懸命に伝えようとする心の動きがあった。

影は光が無くなると消えてしまうこと、影は大きさが変わること、影は形が変わることなど、影と光の関係性に気づいて

いる様子があり、子どもたちの発見に感心した。

影ばかりに気を取られたセットアップになってしまったという反省もあり、もう少し光に着目した活動を広げても面白かったかもしれない。

今回の探究を通して環境設定の大切さを改めて感じた。保育室にも光や影を探究できるよう設定したことで、子どもたちが好きなタイミングで興味のある物に光を当てたり、カラーシートを重ねて遊ぶ姿が見られたため、今後も興味に寄り添い、活動が継続できるようにしたい。

終



株式会社モニカ

〒105-0004
東京都港区新橋2-12-16 明和ビル7階
TEL:03-6661-2466
FAX:03-6661-2467

モニカ三軒茶屋園

〒154-0011
東京都世田谷区上馬1-17-10-2階
TEL:03-6450-8402
FAX:03-6450-8403